

【担当教員】

長澤 正樹

【教員室または連絡先】

非常勤講師 mnagasawa@ed.niigata-u.ac.jp

【授業目的および達成目標】

特別支援教育の理念と制度、特別な教育の場を理解し、特別支援教育の実践に必要な知識を習得すること。さらには、将来のインクルーシブ教育システムの構築に必要な教員の資質と校内体制について理解すること。なお、特別支援教育の関連領域として、虐待や非行などの教育問題を含める。

【授業キーワード】

特別支援教育、インクルーシブ教育システム、特別な支援を要する幼児児童生徒、教育問題

【授業内容および授業方法】

特別支援教育とインクルーシブ教育システムの制度や内容を比較し、これからの教育の在り方を説明する。次に、発達障害や虐待など、多様な特性について説明する。さらに、通常の学級におけるユニバーサルな対応と段階的な対応、合理的配慮を説明し、個別計画作成のための知識とスキルを学べるようにする。そして、通級指導教室から特別支援学校までの特別な場での教育を解説する。

授業構成は、はじめに到達目標を示し、解説、最後に自己評価させる。そして、発展課題を提示し、次回までの提出課題とする。

【授業項目】

- 第1回：特別支援教育とインクルーシブ教育システムの制度と内容
- 第2回：発達障害等多様な実態（貧困、外国籍など）とその特性・特性への対応
- 第3回：身体障害と知的障害の特性と特別支援学校の教育
- 第4回：通常の学級における特別支援教育の在り方
- 第5回：学習のユニバーサルデザインと合理的配慮
- 第6回：特別な対応、段階的な対応、通級指導教室・特別支援学級
- 第7回：個別的教育支援計画・個別の指導計画・校内システム・地域連携
- 第8回：不登校など特別支援と関連する教育問題への対応

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、教科書等の該当箇所を参照し、授業内容に関する予習を90分程度行い、授業内容に関する復習を90分程度行うことが望ましい。

【教科書】

授業で使用するパワーポイントの資料は事前に配付する。

【参考書】

改訂版「はじめての特別支援教育」柘植雅義、渡部匡隆、二宮信一、納富恵子編、有斐閣

【成績の評価方法と評価項目】

授業での学習姿勢30%、課題提出率30%。課題の内容40%

【留意事項】

とくにありません。

【参照ホームページ名】

文部科学省 特別支援教育 https://www.mext.go.jp/a_menu/01_m.htm
特別支援教育総合研究所 <https://www.nise.go.jp/nc/>

【参照ホームページアドレス】

https://www.mext.go.jp/a_menu/01_m.htm

【備考】

とくにありません。

【ディプロマポリシーとの対応】

- 【】 1. 理数の技法と技術科学の見方
理数とデータサイエンスの概念・技法の習得、及び社会を支える様々な技術の科学的理解。
- 【】 2. 思考力・表現力と社会的視野
理解・思考・表現・対話の基礎である言語・論理力の習得、及び技術と社会、安全、環境との関わりの理解。
- 【】 3. 専門の基礎力
技術科学各分野の専門の基礎知識と技能、及び情報技術を使いこなす能力の習得。
- 【】 4. コミュニケーションと協働の力
英語による技術コミュニケーション基礎力、及び国際感覚を持ちチームで協働できる能力の習得。